

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 104	提案機関名 横浜市漁業協同組合
要望問題名 地産地消のための水揚物ブランド化についての研究	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 横浜市漁協ではこれまで柴のシャコ・アナゴといったブランドが築地等の市場では認知されるべく努力してきたが、地産地消が提唱されるなかで地域でのブランドとしての確立を推進する取り組みが求められている。従来の既定流通の枠組みの中では鮮度、銘柄等の品質を高めることが中心であったが、地域ブランドとしての確立は漁業のイメージアップや、一般消費者の性向といった新たなニーズの明確化が重要である。こうしたニーズの調査研究をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 新たなニーズの調査については、HP作成によるWebアンケートやイベントなどでのアンケート調査などで実施可能と考えます。また、地産地消の推進やブランド化において、新たなニーズ対応よりは、既存ブランドとして認知されている天ぷらなどで、観光客などに地場産が食べられる料理店などを多く展開する方が先決であるとも考えられ、指導普及員と共に助言や活動支援をまいります。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			